

2019年 第1回

臨時会報告

新たな議長・副議長を選出

5月15日(水)と16日(木)、4月の大分県議会議員選挙で選任された議員による2019年第1回臨時会が開催されました。

15日は、開会に先立ち、議員の自己紹介の他、広瀬知事の挨拶が行われました。知事は、取り組みの柱として①人口減少に歯止めをかける大分県版地方創生の推進、②企業誘致による仕事の創出、③ネットワーク・コミュニティ^{※1}による地域の活性化、④各種分野での先端技術の活用、⑤災害に強い社会基盤整備に取り組むと挨拶しました。

ついで、議席の決定、正副議長の選挙、常任委員会委員ならびに議会運営委員会委員の選任と正副委員長の決定が行われました。

正副議長は議員による投票の結果、大分県議会第73代議長に麻生栄作議員（大分市選出・自由民主党）、第99代副議長に土居昌弘議員（竹田市選出・自由民主党）が選出されました。

注1 単独集落では立ちゆかなくなる機能を近隣の複数の集落で補い合う仕組み
(例) 耕作放棄地の再生利用、農産物の加工や販売、移動販売車の運営、カフェやワンコイン居酒屋など交流の場づくり



また、16日には、県税の増収や退職者の確定による退職手当の減額など2018年度一般会計の補正予算の専決報告と、ふるさと納税寄附金の法改正に伴う大分県税条例等の一部改正についての採決が行われました。

農林水産委員会に所属することになりました

常任委員会委員の選任では、私は初めて農林水産委員会に所属することになりました。環太平洋連携協定（TPP）の締結やこれからの日米貿易交渉など、農林水産業を取り巻く状況はますます厳しくなることが予想されます。本県でも、経営の安定化や後継者問題など様々な課題が山積しています。



大分県の農林水産業の発展に向けて、私も勉強を重ね積極的に発言していきたいと考えています。

また、今回、議会運営委員会委員にも選任されました。

大分県立武道スポーツセンター完成

5月11日(土)、大分県立武道スポーツセンターの開館記念式典が行われました。



外観



多目的競技場(体育館)



武道場



エントランス

杉・竹・七島イの畳など、いたるところに県の特産品が使用されていました。

県立屋内スポーツ施設としては大分市大洲の県立総合体育館がありますが、老朽化の問題とともに、柔道場はルール改正で公式大会が開催できない状況でした。

そこで、競技関係者を中心に新施設建設を求める26万人以上の署名や請願が県教委や県議会に提出されていました。

4年前に「県立屋内スポーツ施設あり方検討委員会」が設置され、大分スポーツ公園内の昭和電工ドーム隣接地に体育館・武道館の新設が提言され建設が進んでいました。

総工費は当初75億円の予算でしたが、屋根構造に県産木材を使うよう設計変更したことや労務単価の上昇、熊本地震に関わる建設資材の高騰等の理由で最終的に79億6千万円になりました。

本年9月に開催されるラグビーワールドカップ2019の際には、隣接するドームで試合が行われることに伴い、プレスルーム（報道記者室・記者会見室）やホスピタリティ（おもてなし）施設として使用することになっています。



私のHPにも議会活動・活動報告を掲載していますので御覧下さい。

<http://www.ctb.ne.jp/~harada/>

大分県議会議員 原田たかし

検索

